

広報 常総

特別号
政策版
2024.11

この冊子は、市が取り組んでいる事業や実績などを、市民の皆さんに幅広く知っていただくために、毎年、年1回発行をしていくものです。



こどもがまんなかのまちづくり

市では、子育て世帯が集まるまちづくりの実現に向けて、これから親になることを望む皆さん、子どもたちの成長を支えるお父さん、お母さん、これから生まれる赤ちゃん、そして全ての子どもたちを支えるために、途切れのない子育て支援を行っています。ここでは児童手当や医療福祉費支給制度（マル福）などに加えて市が実施している主な施策をご紹介します。



子育て支援情報



妊娠するまで



結婚相談・支援

年3回開催のふれあいパーティーなど、結婚を希望する方の支援を行っています。

問 市民と共に考える課



結婚新生活支援

新婚世帯の新生活に係る住宅取得などの費用の一部に対して補助金を交付します。

問 都市整備課



妊娠

出産応援給付金

妊娠届出をして、保健師との面談をした後に5万円給付します。

問 こども課



プレパパ・ママ教室

親になるための心構えや準備する知識を、妊娠期編と出産・育児編の2回実施します。今年度からは日曜日にも開催しています。

問 保健推進課



妊娠中の健診費用の補助

妊婦健診費用の助成や多胎妊婦、低所得の妊婦の方へ健診費用の補助などを行っています。今年度からは助成回数を増やしています。

問 保健推進課

産婦健診費用の助成

産婦健診は、産後2週間と産後1か月の2回分の健診費用の一部を助成します。

問 保健推進課



新生児聴覚検査費用の助成

費用の一部を助成します。検査は多くの医療機関で入院中に行います。

問 保健推進課



令和6年度
スタート

ツナグ未来誕生祝福金

第1子を出産したら30,000円、第2子50,000円、第3子以降100,000円をそれぞれ支給します。

問 こども課



出産

令和6年度
スタート

JOYBUS のマタニティ割引

母子手帳交付の日から1年間、コミュニティバス（JOYBUS）に無料で乗車することができます。

問 都市計画課



アプリでサポート

母子手帳アプリ「きぬっこナビ」では、地域の育児情報をお知らせしています。

問 保健推進課



公民連携による支援

- 1 森永乳業と連携し、新生児支援として粉ミルクと育児日記を妊婦面談や赤ちゃん訪問時にお渡ししています。
- 2 TSUTAYA BOOKSTORE 常総インターチェンジと連携し、3歳児健診を受診する親子に「kusu-guru kids park」親子120分パスをお渡ししています。

母子の産後ケア

産科医療機関などで宿泊や日帰りで利用できる産後ケアの料金補助を行っています。今年度からは対象期間の延長や自己負担額の軽減をしています。



問 保健推進課



赤ちゃん訪問

保健師がお宅を訪問して、身体測定や育児相談、子育ての情報を提供しています。

問 保健推進課

子育て応援給付金

出生届出をして、保健師の赤ちゃん訪問後に5万円給付します。

問 こども課



子育て

乳幼児健診・教室

乳児健診をはじめとした各種健診や5歳児の健康相談を行っています。また乳児一般健診、2歳児歯科健診費用の一部を助成します。

問 保健推進課



離乳食教室

前期・後期に分けて開催しており、離乳食のお話、事故予防のお話や親子あそびなどを行っています。

問 保健推進課



ブックスタート事業

12か月児健診の時に「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントをしています。

問 図書館



市の主な子育て支援

18歳までの医療費を助成

中学1年生から18歳までの方および、所得制限などによりマル福の対象とならない0歳児から12歳児の医療費を助成します。

問 健康保険課



近隣では常総市が最長の預かり時間で低料金

児童クラブ運営の充実

学校休業日の預かり時間は7時～19時まで利用が可能で、土曜日の預かり体制も整備。学校休業日には、有料でお弁当の提供も実施しています。

問 こども課



入学・卒業記念品の贈呈

小学校、中学校に入学、卒業した時に市から記念品を贈呈します。

問 学校教育課



入学

任意予防接種の助成

インフルエンザ、耳下腺炎（おたふくかぜ）の接種費用の一部を助成します。

問 保健推進課



子育ての相談

随時電話での相談を受け付けているほか、専門家による発達相談や保健師や栄養士によるのびのび子育て相談を開催しています。

問 保健推進課



■あれも、これも未来の笑顔のために

将来の AI 人材を育成

市では、AI 関連産業の集積と雇用の創出を目指す「AI まちづくり」に取り組んでおり、今後、市内の子どもたち向けのロボットプログラミング講座やワークショップなどの開催を予定しており、将来の AI 人材育成を重点的に取り組んでいます。

【問い合わせ】商工観光課



水海道小学校のトイレ洋式化を実施

洋式化率が低い水海道小学校のトイレについて、利便性および衛生面の向上を図るため、便器の洋式化および床の乾式化の工事を実施しました。

今後、洋式化率が低い学校について、計画的に実施をしていきます。

【問い合わせ】学校教育課



※水海道小学校の教室（学年および特別支援）に近いトイレの洋式化率

親子防災キャンプ

親子で楽しみながら防災を学び、生き抜く力を身に付けることを目的に、水海道あすなろの里などで親子防災キャンプを開催しました。

【問い合わせ】防災危機管理課



きぬ総合公園の遊具を新しくします

市では、子どもたちが公園で安全に遊べるように既存施設の計画的な補修・更新を実施しており、令和6年度はきぬ総合公園の遊具を更新します。

設置する遊具については、複数ある案の中から、市内の児童を中心にアンケートを実施して選定しました。

【問い合わせ】都市整備課

図書館をリニューアル

令和5年度から令和6年度にかけて、図書館の大規模改修を行いました。

今回施設の長寿命化を図り、外構のバリアフリー化等を行うなど、人にやさしい図書館としてリニューアルしました。

【問い合わせ】図書館

道の駅の来場者が年間 200 万人を突破

令和5年に市の新たな玄関口として道の駅常総が開駅し、年間で約200万人以上のご来場をいただきました。当初目標の2倍以上の来場者数を達成することができ、交流人口の拡大に大きく寄与しました。

【問い合わせ】農業政策課

道の駅での農作物の売上(生産者)

約**3.2**億円

令和6年10月末現在

アグリサイエンスバレー事業による
新規雇用者数

約**900**人

令和6年10月末現在

ふるさと納税拡大中

ふるさと納税の返礼品拡大などに伴い、ふるさと納税の寄付額は年々伸びており、令和5年度のふるさと納税額は約4億3,309万円です。

ふるさと納税は、様々な市の事業に活用しています。

【問い合わせ】財政課



水海道まちなか再生事業を開始

水海道駅周辺地区のにぎわい創出へ向け、公共施設の活用についてのワークショップやまちなみを活かしたイベントを官民連携で実施しています。

【問い合わせ】商工観光課

水海道市街地に複合施設を整備

市民の広場と一体的に活用できる複合施設を整備し、市民が集まりやすい環境整備を進めています。

複合施設には、公民館や児童センターなどが入る予定です。

【問い合わせ】生涯学習課
こども課

暮らしを便利に快適に

マイナンバーカードの 交付率県内4位

多くの方に申請・取得していただけるように、施設へ出張申請・休日のカード交付を行い、市民への交付率が9月末日現在で87.2%に向上しました。

【問い合わせ】市民課

地域コミュニティの推進

地域の課題解決などを話し合う意見交換会を15地区(公民館・文化センター単位)において実施しています。世代を超えた多様な方々が集まった地域コミュニティ組織の構築を目指しています。

【問い合わせ】市民と共に考える課

■いつまでも暮らせるまちになるために

緊急通報システムで高齢者を見守り

75歳以上で、一人暮らしの方などは、緊急通報システムを無料で貸与します。

また、65歳以上で緊急時に家族の支援が受けられない方は、月額1,870円で利用でき、緊急時以外にも、健康上の不安なども相談できます。

【問い合わせ】高齢福祉課

令和5年度新規加入者

63件

令和5年度末の稼働数

296件

補聴器購入費の助成

加齢に伴い両耳の聴力が軽度～中程度低下しており、補聴器の使用により改善すると医師が判断した方に、片耳分の購入費用の2分の1（最大3万円）の助成を令和6年6月から開始しました。

【問い合わせ】高齢福祉課

令和6年度申請件数

16件

令和6年10月末現在

避難力の強化

市と茨城県が共同で避難力強化訓練を実施しました。訓練は、台風の影響で降水量が増加し、内水氾濫の危険性が高まったことを想定したもので、災害対策本部の運営や情報伝達、住民の避難行動、要支援者への避難支援などを円滑に行うことを目的に各団体が連携して実施しました。

【問い合わせ】防災危機管理課



災害からの逃げ遅れを防ぐ

災害時に、1人での避難が困難な高齢者や障がいがある方の逃げ遅れを防ぐため、市では、支援が必要な方1人1人の避難のための計画である、個別避難計画の作成を推進しています。

【問い合わせ】防災危機管理課

内水氾濫対策

防災の新たな取り組みとして、水田の多面的機能を活用した「田んぼダム」の推進を図り、内水氾濫対策として防災効果を発揮する取り組みも進めています。

【問い合わせ】農業政策課

空き家の利活用を推進

潜在的空き家を把握するために全戸調査を実施しており、令和5年度は97件の空き家が発見されました。

空き家所有者には、利活用してもらうために空家等バンクへの登録を勧めたり、適切な管理についての相談を受けています。

また、システムを活用して可視化した空き家を相互に確認することで、迅速な対応を図っています。

【問い合わせ】都市計画課

令和5年度相談件数

197件



地域公共交通の再編

JOYBUSの運行開始を機に、公共交通の再編を進めています。

JOYBUSの増便や予約型乗合交通「ふれあい号」の予約・配車システムをAI化するなど、利便性の向上に努めています。

また、すでに実施しているつくば市、つくばみらい市とのコミュニティバスの連携をはじめ、さらなる広域的交通ネットワークの形成に取り組みます。

【問い合わせ】都市計画課



令和6年4月から運行開始

都市を創造するまちづくり

人口減少や少子・高齢化などの社会動向の変化や災害リスクと共存できる環境づくりに対し、集約化と持続可能性を踏まえたコンパクトなまちづくりを基本とした都市計画マスタープランを策定しました。

今後は市の将来都市構造の実現のため、ロードマップに基づき戦略的に都市づくりを進めていきます。

【問い合わせ】都市計画課



■より住みよい常総になるために

未来の農業に向けて

昨今、農家の高齢化・後継者不足により担い手農家の減少が懸念されるなか、減少幅を抑えるために、農業ビジョンを作成し、新たに新規就農者の育成・確保を年間10名、5年間で50名の増員目標を掲げました。

【問い合わせ】農業政策課



内守谷公民館の建て替え

当該施設は、建築後40年以上が過ぎていて、内守谷地域に防災や地域活動の拠点がないことから、拠点となりえる施設が必要であると考え建設しました。

【問い合わせ】生涯学習課



建て替え後の内守谷公民館

クーリングシェルターの推進

地球温暖化などの影響で、これまでにない災害級の危険な暑さにより、熱中症の危険度が上がりました。

熱中症対策の一つとして、気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を指定して、酷暑での一時的な市民の避難場所の設置を行いました。

【問い合わせ】生活環境課

指定した施設数

24施設

令和6年10月末現在



生涯学習センター



民間施設